

オープニングを華やかに飾る



とよおかウィンドアンサンブルの堂々たる演奏



第 650 号
 発行人 ● 豊丘村公民館 唐澤克己
 編集人 ● 長野県下伊那郡 豊丘村公民館報 編集委員会
 0265-35-9066
 印刷所 ● 龍共印刷株式会社

私たちの村
 (4月1日現在 ※外国人を含む)
 男 3,389人
 女 3,503人
 総人口 6,892人
 世帯数 2,100戸

反省と飛躍のバネに —まつりの継続と発展を誓い合う—

昨年十月、築四十数年の旧福祉センターに代わり、図書館併設交流学習センター「ゆめあるて」が完成しました。これを機に公民館まつりが開催されました。数多くのグループがステージ発表を行ない、また、調理料理関係のグループも試食品提供という形で、発表に参加しました。当日は発表に先立ち、公民館活動やスポーツ関係の功労者表彰も行なわれました。

三月二十八日に第一回公民館まつりが開催されました。これを機に公民館として何か記念になる様な催しがないか。今日まで公民館また教育委員会の活動を通して功績の顕著な団体、個人に表彰を差し上げた、そして今後の牽引役となつて頂き、更に豊丘村の皆さんが元気になれる様な催しを、との思いで公民館のみなさんに発案いただきました。今までもよおかまつり、敬老会等で村に協力頂いているグループ、また食品提供をして下さるグループの皆さんにお願いして、一月十五日に会議が始まりました。二回の会議の後に当日となりましたが、後の思いですが、もう一回会議を開き、細部の話をしっかりとした方が良かったのではと反省した次第です。

内容に入りますが、食品を提供して下さるグループの皆さんについては前日から準備したそうです。その様な事もあり、予約した食数の当日変更は大変迷惑をかけてしまった事、深く反省を致しました。更に事前決定が無かった為、会場入りした人数しか食品代を頂くことができません、会計面でも問題が出てしまいました。制限の有る会場でのテーブルの並べ方は研究されており、各グループの座る場所が指定されていた為、混乱を和らげる事ができたとおりましたが問題発生

指定場所のトラブルあり、自分も事前確認を怠っていたと反省しきり。ここで一点、食品を出すタイミングが大変良かったのではとひと安心。更にどの料理も良く研究され、良い味付けで、ひと通り美味しく頂きました。領収証の代わりにお渡しした汁碗のお持ち帰りをお願いしましたが、入れる袋も無く、こちらで処分するべきだったとまた反省です。終了後の反省会には四季大学の皆さんが合流してくれ、盛大にできたと感じました。が、片付けは最後まで参加者全員で行う事が原則と思いましたが、これもまた反省です。ステージ発表に関しては、照明が出演者の真上方向からだったので、顔が暗くなつてしま

また部分が有り一寸残念、これまた反省!! 他にもまだ反省点はありますが、今回ご協力頂いた全ての皆さまに改めて感謝申し上げます。このまつりがこの先長く続いて開催できますよう、ご協力をお願いして、私の感想を終わりたいと思います。反省なくして進歩なし。

では中学生、高校生、大学生といった若いメンバーが多数加わり、週二回、旧セミナーハウスのセミナー棟をお借りし、賑やかに練習を行なっています。練習の成果を発表させていただく場所として、とよおかまつりを始めクリスマスコンサート、スプリングコンサート等で地域の皆様に大変お世話になっていきます。

今回この公民館まつりの依頼を受け、一〇分という短い時間の中で聴いて下さる皆さんに喜んでいただけると曲を考えると、一川の流れる

今後はこの活動を広く村民の皆さんに知っていたら、また、この活動が村民の皆さんも参加できるようイベントになってくれたら...と思います。

(壬生雅穂)

公民館まつり
 実行委員長
 壬生 一

生。指定場所のトラブルあり、自分も事前確認を怠っていたと反省しきり。ここで一点、食品を出すタイミングが大変良かったのではとひと安心。更にどの料理も良く研究され、良い味付けで、ひと通り美味しく頂きました。領収証の代わりにお渡しした汁碗のお持ち帰りをお願いしましたが、入れる袋も無く、こちらで処分するべきだったとまた反省です。終了後の反省会には四季大学の皆さんが合流してくれ、盛大にできたと感じました。が、片付けは最後まで参加者全員で行う事が原則と思いましたが、これもまた反省です。ステージ発表に関しては、照明が出演者の真上方向からだったので、顔が暗くなつてしま

また部分が有り一寸残念、これまた反省!! 他にもまだ反省点はありますが、今回ご協力頂いた全ての皆さまに改めて感謝申し上げます。このまつりがこの先長く続いて開催できますよう、ご協力をお願いして、私の感想を終わりたいと思います。反省なくして進歩なし。

では中学生、高校生、大学生といった若いメンバーが多数加わり、週二回、旧セミナーハウスのセミナー棟をお借りし、賑やかに練習を行なっています。練習の成果を発表させていただく場所として、とよおかまつりを始めクリスマスコンサート、スプリングコンサート等で地域の皆様に大変お世話になっていきます。

今回この公民館まつりの依頼を受け、一〇分という短い時間の中で聴いて下さる皆さんに喜んでいただけると曲を考えると、一川の流れる

多くのグループが一堂に会し —3月28日に公民館まつりが盛大に開催される—



昭和五十年代に義務教育を終えたわたしたちの世代は、当時卒業式の定番曲「仰げば尊し」に「互いに睦みし」という歌詞があることを学校で教わらなかった。その理由は「身を立て名をあげよ」という部分に立身出世受戦戦争のマイナスイメージがあるためらしい▼地方に住んでいると、都会で頑張れば名譽も収入も得られるという憧れを持ちがちだ。それが「都市への転居が出世の道」と意味が転換した。そうして都会で功成り名を遂げると「ふるさと」は遠きにありて思うもの」となる人が多い▼ふるさと納税という寄付の制度ができて、多くの自治体が住民以外からお金を集められるようになった。豊丘村にも数億円のお金が寄付され、村からは謝礼として農産物を送っている。しかし全国で謝礼競争が過熱しており、総務省は節度ある対応を求めている▼正直、お札目当ての見ず知らずの人の寄付より、出世していろいろがいが地元出身者に帰ってきてもらったほうがありがたい。消防団活動をしたり、お祭りに参加したり、田んぼを耕作して守ったりすることはお金に換算できない価値がある。そしてその繰り返してふるさとに成り立つのだ。「志を果たしていつの日にか帰らん」というのが、いつの日にかつていつなんだ。

段丘

大人に加わり、子どもたちも大活躍

それぞれの経験を活力に変え

—新しい教育長に寺沢さん、公民館主事に竹村さん

豊丘の持つ すごい地域力を 故郷を誇りに思う 子供達の育ちの場へ

新教育長
寺澤宜勝



本年四月より教育委員会制度が新しくなりました。大津市で起きた悲しい出来事などを端緒とし、教育行政の責任の明確化を主眼とし、教育委員長と教育長を一本化した責任者（新教育長）を置くことになりました。私

は二年半、教育委員長を務めてまいりましたが、この度、新制度による教育長を拜命しました。

新任は従来に増して責任と教育の中立性の担保が求められます。もとより経験も浅く非才の身ですが、この大任を全うすべく全力で取り組む覚悟です。よろしくご教示、ご協力をお願い致します。

本村は昨年四月より、子供達の成長の過程を出来るだけ一つの流れの中で支援していきけるよう、子育て支援センター、保育園を教育委員会組織の一員としました。

子育て中のお母さんの声を受けとめることから始めて、保育園から小学校、小学校から中学校へと、とぎれることなく一人一人の子

生き甲斐を 感じる活動を

新公民館主事
竹村久永



この度、教育委員会社会教育係に配属されました竹村と申します。これまでは主に役場広報係としてケーブルテレビの仕事に携わって参りました。公民館の仕事は初めてですので、諸先輩にご指導を仰ぎながら、勉強をさせていただき所存です。ご迷惑をおかけすることも多々あるかと存じ

供に光を当てて見守っていく体制を目指して来ましたが、

一年間、試行錯誤はあるものの各部門の連携による実効性は確実に上り、携わる先生方の意欲も極めて高いと感じています。本年度もこのことをさらに進化させ、子供を育てるなら豊丘と云える世界を実現してい

万感交わる 退任のご挨拶

前教育長
筒井良二



この度、無事任期を終え、

ですが、どうかご寛容くださいますようお願い申し上げます。

さて、社会教育法第二十条によると、公民館とは、市町村その他一定区域内の住民のために、實際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行ない、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することが目的とされています。

また、第二十二条には、図書、記録、模型、資料等を備え、その利用を図ることも規定されています。今のところ、右も左もわからない状態ではありますが、今を生きる様々な人々の民族的記録をはじめ、ソーシャルイン

きたいと思えます。併せて豊丘のそれぞれの地域で培われてきた伝統的芸能、文化を土台とする地域力を学校運営に活かし、学校の持つ可能性、学校力を地域に活かす交流を様々な場面で、

今以上に拡げていけたらと期待しています。

退任いたしました。

村民の皆様には、たいへんお力添えをいただき、感謝です。

生まれ故郷の本村に呼んでいたとき、力不足ではありましたが、何とか務めを果たすことができました。

この間、昨年度は本村にとって望みの交流学習センター「ゆめあるて」と図書館が完成しました。多くの村民に利用していただき、

活気づいています。

教育委員会の機構改革にも取り組み、保育園と子育て支援が教育委員会の管轄となりました。保育園は子ども課長の総園長と係長のもと、三園長制となり、それぞれの園が園長のもとで活気ある園運営がなされています。

三校も、以前にも増して充実したものになり、落ち着いた学校生活が送れているばかりでなく、多方面に成果が出てきています。

これも皆様方のお支えのおかげです。ありがとうございます。また、たいへんお世話になりました。

動になりました。「あこ」という間の九年間で、その間、様々な公民館事業、社会教育事業に携わらせていただき、多くの村内外の方とお会いすることができました。また、立派な先生方のお話をお聞きしたり、事業を通して村外にも学習の目を向けることができ、参加された方と共に沢山学ばせていただきました。

昨年オープンした交流学習センターの建設にも関わらせていただき、福祉センターを利用されていた皆様のご意見を、新しい施設に反映させ、より使いやすい、誰でも気軽に立ち寄れる施設となるよう努めて参りました。オープン以来、予想以上の多くの方々のご利用

があり、大変うれしく思いです。様々な事業を進めていく中で「大丈夫、がんばれ！」「楽しかったよ」「いい内容だったね」という皆様の言葉に励まされ、背中を押していただき、大変充実した日々を過ごさせていただきました。

転出・退職

- ◆南小学校
 - 倉沢 成信 下條中へ
 - 近松志津夫 下條小へ
 - 井上 恵子 上の原小へ
- (岡谷市)へ
 - 吉沢 公子 松尾小へ
 - 岩瀬 恵 上郷小へ
 - 中塚 雅彦 大鹿小へ
 - 飯島 信子 浪合小へ

村の小中学校教職員異動 学校に新たな息吹

- 岡田はるな 高森南小へ
- ◆北小学校
 - 松澤 郷子 退職
 - 湯澤 弘典 根羽中へ
 - 中島 滋子 高森南小へ
 - 中村 伸哉 信州大学付属 松本小へ
 - 市瀬恵理子 松尾小へ
 - 唐澤 美子 鼎小・阿智 第三小へ
 - 田中美代子 阿智第一小へ
- ◆中学校
 - 丸山 貢弘 竜峡中へ
 - 大倉 撤子 大鹿中へ
 - 松村 奈月 高森中へ
 - 洞口 淳 鎌田中(松本)へ
 - 山本 龍孔 赤穂中へ
 - 岩崎 元紀 退職

転入

- ◆南小学校
 - 青森 隆俊 島内小
 - 中村 一男 下久堅小より
 - 田中 崇 箕輪中部小より
 - 池上 和弘 飯田養護より
 - 村澤 由笛 飯田養護より
 - 伊藤 景子 芹田小
 - 岡本 恵子 千栄小より
 - 河合 重子 伊賀良小より
- ◆北小学校
 - 大蔵 和幸 城北小
 - 濱中 浩 (諏訪市)より
 - 宮澤 剛 事務所より
 - 小川亜希子 伊賀良小より
 - 西村 明美 綿内小
 - ◆中学校
 - 溝上 正弘 竜東中より
 - 小澤 雅代 飯田西中より
 - 関島 美和 小諸東中より
 - 松尾 貴之 下伊那農業高より
 - 桜井 長 飯島中より
 - 野澤 友希 旭ヶ丘中より
 - 新規採用

池野節子さん 九十歳 北村在住



池野さん

たと今更ながら思う。戦後帰郷、しばらくは実家で農業の手伝い・山羊の世話等を行っていたが、縁あり結婚し義母と農業を行なう傍ら、河野の診療所に勤めたりした。そうした中で画家であった義父(池野晃雲先生)の手伝いを行っていた。その義父は七十八歳で他界し、一方で御主人も脳動脈瘤を病み十年間に亘る闘病生活を介護したが平成五年に亡くなった。このようにして農業、介護等を長年続ける中で、長男は三年半に亘る中国勤務があり女手で留守宅を守る等苦勞の連続であった。

しかし今から十五年程前から地域の仲間とゲートボールのチームを作り、しっかりと纏めてくれるリーダーを中心に、週二回は練習をし、時々各地に試合に出かける等して楽しんでる。ゲートボールは試合を有利に展開するために作戦を立てたり、体を使ったり仲間と話したりするなど多くの面で健康維持に役立っている。他に村で実施されている健康体操、月二回はつらつでの憩いの時間など、仲間との会話や笑いが健康の源となっている。

節子さんは大鹿村鹿塩の御出身である。母親は若くして亡くなられた様々な面で苦勞された。高等科卒業後、既に看護婦になっていた姉を追い東京へ出て看護婦の資格を取り、同愛病院に勤務するが折しも第二次世界大戦の終盤を迎え、頻りに空襲を受けた。職業上負傷者の看護があるため、小柄な体格にも拘わらず体を張り手当をした。特に二十年三月の東京大空襲時は近くまで煙火に包まれた。よくぞ無事に終戦を迎えられた。

シリーズ 元気な高齢者 ⑧

健康の秘訣は 栄養を考えた食事

庭の草取りで四季を実感し、新聞を毎日読んだり、時々訪ねてくれる群馬に住む娘が温泉や本屋に連れて行ってくれ、そこで購入する歴史小説を読むことが何よりの癒やし時間である。又嫁さんが栄養を考えた食事を作ってくれるのが健康を保っている秘訣と思う。

文責 日下部富次
桐崎長一

こちら資料館 152

壊すために作られた土偶

新聞等でご承知のように、富士見町の坂上遺跡から出土した土偶が国の重要

文化財に指定されることになりました。高さ二三cmと、国宝の「縄文のビーナス」や「仮面の女神」より小ぶりな地味ですが、その素朴な造形美と細密な文様が高く評価されたということです。

当資料館にも土偶はたくさんありますが、そのほとんどは小さくまた砕けていて完全なもの一つもありません。また、多くは女性

を形どったもので、妊婦と思われるものもあります。全国的に見ても、土偶には「女性」で「壊れている」という共通点があるようです。新たな命を生み出すことのできる「女性」が種族繁栄、生命の象徴として神聖視されたことは容易に想像できます。しかし、「壊れている」ことは何を意味しているのでしょうか？

バラバラに壊して安産を願った「壊す(死ぬ)こと」で再び新しい命としてよみがえることを祈った等々、いろいろの説がありますが、「土偶は最初から壊すために作られた」ということは



富士見町出土の土偶



資料館所蔵の土偶

ほぼ確かだと思われる。(資料館主任 唐澤武彦)

工夫を加え急入りに

平成27年度 主な公民館事業

- ◆**文化系**
今後大きなイベントに成長していくと期待される「公民館まつり」が昨年度から加わりました。従来から継続している事業も、一層工夫して進歩発展させていきたいと思えます。
◆**公民館学習会**
五月十五日が開講式です。予定表は、三月に隣組内回覧いたしました。
◆**人形劇豊丘公演**
人形劇団「はんび」による楽しい人形劇公演です。一日二回の公演になりまします。(期日・内容検討中)
◆**文化事業**
とよおか寄席「落語」(期日・内容検討中)
とよおかコンサート
「サクソフォンカルテット桜」(七月十八日)
◆**文化祭・作品展**
公民館グループが日頃の研鑽の成果を発表します。(十一月八日～十五日)
◆**ステージ発表**
とよおかまつりに公民館グループが歌やダンス、演奏等の発表を行ないまします。(十一月十四・十五日)
◆**成人式**
村出身の若者の成人を祝います。(二月三日)
◆**ふるさと探訪史跡めぐり**
村内の代表的な史跡を訪ね、村の歴史を学びまします。(期日・内容検討中)
◆**ふるさと見て歩き**
「新九郎の滝」道中で自然の観察も行ないます。(期日検討中)
◆**親子セミナー**
保育園児・小学生の親子向けセミナーです。自然を探索して、山菜や野草を採取し、調理して試食をします。(期日検討中)
◆**武田信玄狼煙上げ**
下伊那南端から諏訪に至るまでリレー式に狼煙が上がりまします。是非ご参加を。(九月五日)
◆**公民館まつり**
多くの公民館グループが一堂に会し、発表を行ないます。(期日・内容検討中)
◆**スポーツ系**
毎年恒例の事業に新規のものも加えまします。詳細は追ってお知らせします。
◆**村民ゴルフ大会**
今年も芝生の緑が美しい高森カントリークラブで、大勢の村民が参加して行なわれます。(六月九日/高森CC)
◆**公民館ゲートボール大会**
ベテランに初心者も加わり、毎年熱戦が展開されています。(期日検討中)
◆**夜間ソフトバレーボール大会**
今年も、混合の部と女性の部に分かれて、約二ヶ月にわたり白熱した試合が展開されます。(七月～九月)
◆**分館対抗球技大会**
軟式野球、ソフトボール、ソフトバレーボールの三種目を分館対抗で行なう盆恒例のイベントです。(八月十五日)
◆**スラックライン体操講習会**
サーカスの綱渡りを連想させる新スポーツの紹介です。バランス感覚を養うには大変よいそうです。(期日・内容検討中)
◆**二十四時間ソフトボール大会**
昼夜にわたる村を挙げての大きな事業で、毎年たくさんのチームが参加します。(期日検討中)
◆**豊丘村駅伝大会**
勤労感謝の日に村内を激走する恒例のイベントです。(十一月二十三日)
◆**冬季レクリエーション大会**
建国記念の日に、極寒の中で熱戦が展開されます。(二月十一日)

気分を新たに任務を全う

平成27年度 公民館役職員

- ◆**【本部】**
公民館長 唐澤 克己
社会教育係長 竹村 久永
公民館主事 元島 将太
図書館司書 松下 佑子
◆**【社会教育委員】**
貝原 豪 森田 恵子
寺澤 愛子 原 国人
溝上 正弘(中学校長)
◆**【公民館運営審議会委員】**
毛涯 雅明(二分館)
唐澤 啓六(二分館)
◆**【編集委員】**
壬生 雅穂 鹿角 勝二
日下部富次 正木 淳子
桐崎 長一 原 明美
小池 淳子 吉川 士郎
吉田 裕
◆**【図書司書】**
原 明美
◆**【スポーツ推進委員】**
酒井 浩文 吉田みき子
◆**【分館長】**
1 越野清司 2 曾田 勝
3 原 和夫 4 平澤秋人
5 福島昭治 6 唐澤 伸
7 高田晴仁
◆**【分館主事】**
1 大原真一 2 福澤信広
3 片桐繁和 4 福澤元広
5 小椋 司 6 唐沢伸彦
7 壬生雅穂
◆**【社会部】**
1 平 哲聡 2 田畑孝宏
3 松井直子 4 阿部 繁
5 三澤 学 6 北澤福美
7 松尾明彦
◆**【図書部】**
1 久保田和義 2 木下克朗
3 前野博司 4 原美恵子
5 武田愛理 6 北澤功治
7 篠田恒治
◆**【体育部】**
1 小澤孝光 2 今村公彦
3 原 直樹 4 原 美雄
5 堀本文文 6 小石峯誠
7 高田昭夫

先月号の原勝敏さんに続き、同じテーマで、今月は筒井博さんに語っていただきました。悲惨な体験を決して無駄にすることなく、ぜひとも現代に活かし、未来に繋いでいきたいものです。平和は、私達が生きていくための最重要事項です。

みたまやすらかに
八王子(元村遺族会長 筒井 博)

NHK朝の連続ドラマ「マッサン」が放送されていきました。一馬に赤紙が届きます。一馬を慕うエマは悲しむなか、一馬は遺書を残して出征して行きます。そして二年後白い布でつまれた小さい箱の中の遺骨で帰還しました。残念でした。赤紙とは、文字通り赤地の紙に印刷された召集令状のことで、これが届くと一週間ぐらいの間に軍の指定する基地へ出征しなければならぬ拒絶することのできない国からの絶対的な命令でした。

私の父にも、私が小学校二年を終ろうとしていた昭和十六年二月二十日に召集令状がきました。あわた

その年の十二月八日に太平洋戦争が始まりました。私の義兄も元陸軍航空兵で太平洋戦争が始まって間もなく、昭和十七年五月三十一日、パレンバン(スマトラ)の落下傘部隊の降下作戦に出撃して戦死してしまいました。その時二十七歳でした。

当時から戦没者遺族でつくる遺族会がありました。私は、昭和五十年頃からこの会の運営に携わるようになっていきました。そこで知ったのは、頼りにしてきた我が子や兄弟を、また、幼くして父親を亡くした人達が、大勢いたことでした。なかでも一番哀れに思ったことは、戦争未亡人、戦争遺児とい

無念さは察して余りあるものがあります。遺族会の存続のため奔走して、昭和六十一年に、豊丘村全戦没者の遺影と親族の方々の思い出等寄稿してもらって、「みたまやすらかに」という会誌を発行することができました。全会員の協力があったからできたことでした。原稿を整理しながら涙のこともありました。この本は村の図書館にもあるはずですが、機会があれば一度手にとってみてください。

戦争で亡くなった旧陸海軍人軍属は日本中で二百四十万人、豊丘村でも二百八十八名が亡くなっておりま

す。そして米軍機B29による爆撃で亡くなった民間人は数知れず、改めてご冥福をお祈り致します。

こうした多くの人々の犠牲のうえに今の平和があると思えます。しかし、今の日本は、昔来た道へ逆戻りの感じを受けます。政治家は過去に戻って反省し、平和な国づくりに励んでほしいと願うばかりです。

村民広場

平和の維持を

とよおか四季大学

3月29日に卒業講座

元プロ野球選手が実技指導

とよおか四季大学の最終講座が三月二十九日に村民クランドで開催され、元プロ野球選手の小早川毅彦氏はじめ講師の方々へ実技の指導をしていただきました。この四季大学に終始ご尽力されてこられた柿外土出身の丸山克俊先生に、感想を寄せていただきました。

とよおか四季大学への想い

丸山 克俊

今から四年前の二月二十六日、吉川達郎前村長から「豊丘村ふるさと大使」の委嘱状を頂戴した。望外の喜びであった。

ふるさと大使を拝命したその記念の会場には、亡くなった母がいた。いつものように控えめに座っている母の姿は、いつになく嬉しそうであった。



小早川毅彦氏による実技指導

さり、「社会教育講座」として、春夏秋冬、講演会・講習会を開催することになったのである。

講師陣 豊丘村を好きになる

小生の任務は、皆様に興味を持っていただけるような講師陣を調えること。筒井良二教育長、菅沼康臣副村長をはじめ関係各位には、大きなご協力、ご支援をいただいたけれども、連絡窓口のご担当者である原みほ子氏には、ほんとうにお世話になった。

その年の四月、吉川村長がご勇退され、下平喜隆村長が誕生した。そして、下平村長を「学長」、小生が実行委員長となって、「とよおか四季大学」がスタートした。関係各位がご尽力くださった。

一言で表現するならば、原さんのお仕事ぶりを通して、豊丘村の人的資源の素晴らしさを感じさせられたと言っても過言ではない。

原さん。ほんとうにありがとうございました。

とよおか四季大学開学の最初の講師は、元文部科学副大臣の松浪健四郎先生（現在、学校法人日本体育大学理事長、二番目は、弁護士広井武昭先生である。お二人とも、現在進行形で、小生の「人生の師匠」である。豊丘の温かい人心を満喫された。

異色の講師、社団法人日本プロ野球選手会の松原徹事務局長の「プロ野球界よ

お知らせ

27年度公民館学習会

詳細は三月の隣組内回覧でお知らせしましたが、今年度の公民館学習会の日程は下記の通りです。年十回の予定で開催します。ぜひ大勢の方々の参加を期待しています。さまざまテーマで、それぞれ専門の講師の先生方が指導してくれま

私の七つ道具は双眼鏡、エンピツ、メモ帳、時計、捕虫網、虫眼鏡、カメラ。これで、野鳥、トンボ、セミ、カエル、チョウの存在を記録することができる。そして、私にとって一番大事なことは、毎日の生活の中で記録しつづけること。

この二つが、そろった時、今回のような発見につながる。三月三日。いつも通り通勤途中での鳥

Table with 2 columns: 公民館学習会の日程 (Citizens' Learning Meeting Schedule). Rows include dates and topics like '健康講座', '防災講座', '人生講座', etc.

Table with 2 columns: 出生 (Births). Lists names, birth dates, and locations for several individuals.

Table with 2 columns: 死亡 (Deaths). Lists names, ages, and locations for several individuals.

俳句 短歌

水温む進水の船刻を待つ 磯部セツ子
白れんの蕾は堅し駒岳の冷え 田中 静
柔らかに拳上げをり辛夷の芽 片桐 洋子
蒼い空やさしい日溜り犬ぶぐり 下平 玲子
春雨を半眼に避けバイク馳す 三島 保子
びんずるに願ひあずける彼岸かな 三島 里子
段丘に枝燃す煙春となり 木下 眞水
日本の危ふき春を継ぐは誰 宮下 公
彼岸桜母の戒名墓碑になり 宮下 純子
天龍川の聳えし奇岩冴返る 林 恵美子
段丘の胸の円みが黄沙喚ぶ 北原 昭子

公民館短歌会

木目込の雛人形はやさしげに男の子ばかりの家の華やき
待ちわびた白く咲きたる梅の花よるこぶ亡父の空声きこえ
剪定を終えし柿の木端正に無数の切り口白く光りて
バヌアツに台風大きい爪あとを 初めて聞く名に地球儀まわす
四年すぎ汚染の土は山をなし桜咲きても郷へ帰れし
誰に好き妻は喋っているのかな仏壇の茶を入れかえる朝

柳 (Willow) section featuring a poem by 豊柳会 (Toyoyanagi Kai) and a list of names and dates associated with the willow tree.